

令和5年度シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
衛生防災設備	2単位	3	必修	設備工業科

1 科目の目標

衛生防災設備に関する基礎的な知識や理論を習得させ、消火設備全般について学習する

2 教科書

衛生防災設備（文部科学省）

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	空気調和設備に関する諸問題について関心を持ち、また、意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。	出席状況、学習態度（服装、教科書ノート）提出物
思考・判断	空気調和設備に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	ペーパーテスト（計算力、思考力）
技術・表現	空気調和設備に関する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	ペーパーテスト（表現力、思考力）
知識・理解	社会における空気調和設備の意義や役割を理解し、それに関する基礎的な知識を身につけている。	レポート発表における表現力や文章力

4 評価の方法

各教科の評価は1, 2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価で出される。評価の規準としては、定期考査（中間考査・期末考査）、臨時考査（小テスト等）、提出物（ノート、課題プリント等）、日々の授業態度や出席状況をみます。

定期テスト60%	出席20%	態度・提出物20%
----------	-------	-----------

評価記載方法

- ・100点法
- ・5段階評価

評価内容	100点法	5段階評価
特に高い程度	100－80	5
上と中の中間	79－65	4
ほぼ達成	64－50	3
中と下の中間	49－35	2
特に不十分	34－0	1

5. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学 期	4 5 6 7	26	第4章 防災設備 第1節 消火用設備 第1 屋内消火設備 第2 自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火用設備の特徴について理解し説明できる。 (屋内消火栓、自動火災報知設備) ・屋内消火栓の設置基準について理解し、実践的に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
1学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	
2 学 期	9	8	第4章 防災設備 第3 避難誘導設備	・避難誘導設備の種類や用途について、基本的な知識を習得し、意欲的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
	10 11	16	第4章 防災設備 第5 防火戸と防火ダンプ	・暖房装置を構成する主要機器についての基礎的知識や技術を習得し説明することができる。	
	12	8	第4章 防災設備 第2節 消火設備と配管機器の設計	・消火設備に使用する配管機器について、原理を理解し知識や技術を習得し取り扱うことができる。	
2学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	
3 学 期	1 2	12	第4章 防災設備 第2節 消火設備と配管機器の設計工	<ul style="list-style-type: none"> ・消火設備に使用する配管機器について、建物用途ごとに、設計することができる。 ・消火水量から必要な配管サイズを決定し、さらにポンプ選定などの課題にも対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
3学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	